

とことん！淡路島ぐるりんロード

8月13日（月）～8月17日（金）

IN 諭鶴羽神社、国立淡路青少年交流の家、民宿『西田荘』

	午前	午後	夜
1日目	淡路島に向けて出発 ぐるりんスタート	ぐるりんサイクル	諭鶴羽山到着 振り返り
2日目	ぐるりんサイクル	施設到着・昼寝 レクリエーション	振り返り
3日目	グループタイム	工作（勾玉づくり） 野外炊飯	振り返り
4日目	ぐるりんサイクル、民宿到着		BBQ、振り返り
5日目	ぐるりんサイクル	淡路島を出発 解散	

一日目： 明石に全員が集まり、五日間お世話になる自転車を借り、フェリーにて淡路島へ渡りました。自分の思うところでしっかりとブレーキ出来るかテストを行い、合格したグループから順次スタートしました。容赦のない照りつけの中、どのグループもなかなか良いペースで進んでいます。テストの合格に手間取ってしまい、出発時間が少し遅めでしたが、取り返そうと必死に走っておられました。昼食を挟み、洲本に入ると走るコツを見つけたのか、序盤に比べ、気持ちに余裕が生まれたのか全体的に笑みが増えていました。後半に入ると、大きな難所【山越え】です。2つの山を手押しで登らなければいけません。さすがに会話があったグループもここでは寡黙になってしまいました。その中でも声掛けをされているメンバーもおられ、遅しく感じました。山を越え、最後の海岸ラインを走るとついにゴールです。夕食を済ませ、宿場の『諭鶴羽神社』へは車で上がりました。入浴を済ませると振り返りを行いました。振り返り中に話した内容を逐一メモし、大切にしていきます。まだ初日なので振り返りに慣れていませんでしたが、頑張っておられました。



二日目： 昨日の疲れから時間ギリギリまでみんなぐっすりと眠られています。起床後、寝袋を片付け、洗面や着替えを終わらせ、朝食を済ませました。いつも諭鶴羽神社にお世話になっているので、御礼を込めて奉仕活動を行なっています。誰もさぼらず一生懸命清掃作業をされていました。身支度を済ませ、山を下りました。今日も日差しは強いですが、楽しく談笑しながら下りました。下り終わると、自転車に乗り換え、施設まで向かいます。初日より日差しは強く、特に日陰もないので、序盤からかなり苦しい道のりです。しかし、暑さに負けず峠を懸命に押しながら、仲間に声を掛けながら進みました。峠を越えると施設まで下り坂なので、気持ち良さそうに一気に下っておられました。そしてついに施設へ到着出来ました。到着の安堵感と嬉しさが重なり、なんとも言えない表情でした。入所後は早速、昼食をいただきました。昼食後は疲れた体をしっかりと休め、浜辺でレクリエーションを楽しみました。この結果は最終日に大きく関わってくるので、皆負けないように必死でした。夜は昨日も行った振り返りです。昨日よりも話し合い、翌日どうすればもっとグループとして、動けるか話し合いました。あと一日、施設に残ります。この間に体をしっかりと休め、グループの絆を深めていきましょう！！



三日目： 昨日までの激走から一日が経ち、皆の表情にも少し落ち着きが見られました。朝食は『パックドック』を作りました。何度も作った事のあるメンバーが多く、教え合いながら美味しく焼き上げました。午前中は、のんびりとグループタイムを取りました。談話室でボードゲームを楽しんだり、部屋で談笑したり、ゆっくり休んだり、それぞれの休み方で過ごしました。今日の日中、本来は海遊びの予定でしたが、悪天候のため工作をしました。後半の交通安全を祈願して、『勾玉』を作りました。大きさや形を自身で決め、ヤスリでひたすら削る作業です。初めは大雑把に削っていくのですが、徐々に細かく整え、キレイにしていきます。勾玉の形はもちろんですが、三角や丸型の勾玉もあり、各々想いを込めて作りました。野外炊事の前に参加者の親御様から差し入れてスイカをいただいたので、みんなでスイカ割りを行いました。自転車で頑張ってきたご褒美として、大いに楽しみました。そして、夕飯は【焼きそば】を作りました。これまでの活動を通して、グループで協力することを意識されていたのか、声を出し、率先して動き、みんなを引っ張ってテキパキと作り上げました。量も適量で、どのグループも完食されました。入浴後は振り返りです。昨夜より深い話し合いをされていました。一つの意見を深掘りし、みんなに本当に必要なものを見つけようと頑張っておられました。



四日目： 朝から荷造り、清掃と手際よく行き、朝食前には終わらせる事が出来ました。朝食後は昨夜まとめきれなかった振り返りを行いました。今日の目標を定めたグループから出発しました。今日は雨との戦いです。スコールのような突発的な雨に遭いながらも必死に進みました。昼食は淡路島最西端『道の駅うずしお』にて済ませました。この時、雨も止んでおり、美味しくいただく事が出来ました。昼食後はゴールまで一気に進みました。淡路島の西海岸を走ると海風が涼しく、走りやすかったです。そして、目的地【西田荘】に到着しました。西田荘に到着するとかき氷のおもてなしをいただきました。そして夕飯はお楽しみのBBQです。みんなで賑やかに盛り上がり、楽しみながら夜を過ごすことが出来ました。民宿に戻ると入浴と振り返りです。昨夜はあれだけ話し合い、本当のグループについて、友達について話し合ったので、今日は初めから白熱した内容となっていました。



五日目： 朝はこれまでに比べゆっくりと始まりました。起床時間まで誰一人起きる事なくぐっすりと休まれました。起床と共に元気な声や足音が聞こえました。朝食をいただくと、ついにゴールに向けて出発です。作ったお守りをしっかり首から下げて各グループ出発しました。天候は快晴で海風が吹き気温も上がらないので、走行には心地よい気候でした。これまで、山や峠を何度も乗り越えてきたメンバーにとって今回の道は比較的走りやすい道でした。疲れは溜まってきているので、つい坂道で止まろうとされるメンバーに仲間か



ら「頑張れ!!」、「止まらない!!」、「漕いで!!」とエールが飛んでいました。途中のコンビニで昼食を取りました。自分達で食べたいものと考えて購入出来るので、楽しそうに選ばれていました。食事中も笑い声が絶える事なく、和やかな時間を過ごしました。後半に差し掛かると、ついに眼前に【明石海峡大橋】が見えてきました。メンバーのモチベーションは一気に上がり、走りに力が入りました。最後の休憩ポイントを越え、ついにスタート地点の『岩屋港』に到着しました。フェリーに乗り、明石港にて最後の振り返りを行いました。振り返り後は長い間お世話になった自転車レンタルサイクルへ返しました。明石駅にて全体解散です。解散時のみんなの表情は自信と達成感に溢れており、こんがり焼けた素敵な笑顔がたくさん見られました。



<キャンプ総括>

今年も沢山の喜び、悲しみ、涙、歓声、人が成長する瞬間を垣間見ることが出来ました。今年を最後と名目を打って行なっているのですが、お世話になっている施設、民宿、レンタルサイクル、そして参加者の皆様から惜しまれる声をととても多くいただき、それだけ我々が行ってきた事は大きく、意味のある事だったのだととても嬉しく思いました。淡路島は常にリスクと隣り合わせです。安全のパーセントを上げる事は出来ますが、決して100%は出来ません。それでもやり続け、自分自身に「そこまでして何故やるの?」と疑問を常に投げかけています。沢山の悩み、考えても答えは一つです。『そこに圧倒的な成長があるから』です。「淡路島を走って自信がついた。」「弱さを知った。」「人を支えることの大切さ、難しさを感じた。」というお声をいただきました。他のキャンプでは聞く事は出来ない、確かな成長の声を淡路島では聞く事が出来ました。文頭にも言いましたが、今年で淡路島は一旦お休みと考えています。これまで、淡路島ぐるりんロードを支えていただいた皆様には心より厚く御礼申し上げます。いつか再び実施致しますのでその時は是非ともご参加ください。そして、来年はもっと過酷で成長できる自転車企画を考えているので、楽しみにお待ちください!! 本当にありがとうございました。(竹中 哲郎)